

新古改撰誌記

卷之十七

〔朱書〕
「五百五十七」

黒鍬之者頭

御中間頭

江

御小人頭

御駕籠之者頭

御成之節雨天等ニ而濡候節御手当被下置候員數之儀別紙之通相
伺候処、伺之通可取計旨被仰渡候間、以來右員數見合可成丈不
相嵩様取調可申事

九月

御目付

辰二月十日上ル、九月廿日御下ケ

承附即日返上

書面伺之通可取計旨被仰
渡承知仕候

九月廿日

御目付

御成之節支配向濡御手当
減方之儀取調奉伺候書付

御目付

紅葉山

御宮江御装束ニ而被為

成候節

綾縞小袖之節
一、銀七百拾八匁五分

御供組頭
忝人

但忝人貳百三拾九匁五分宛

〔朱書〕

「但減方無御座候」

同拾之節

一、銀五百拾六匁

但忝人百七拾貳匁宛

〔朱書〕

「但同断」

右貳口平均忝度分

銀六百拾七匁貳分五厘

一、銀壹貫貳拾目

但忝人三拾目宛

〔朱書〕

「内拾忝人減

此銀三百三拾目」

綾縞小袖之節

一、銀三百六拾貳匁貳分

但忝人百八拾壹匁壹分宛

〔朱書〕

「但減方無御座候」

同拾之節

一、銀貳百貳拾七匁貳分

但忝人百拾三匁六分宛

〔朱書〕

「但同断」

右貳口平均忝度分

銀貳百九拾四匁七分

退紅綾縞小袖之節

御使組頭
貳人

御中間目付
御小人目付
貳拾貳人
御中間押
御小人押
拾貳人

御日傘役
忝人
御草履取役
忝人

御草履取役

一、銀三百拾五匁

但老入百五拾七匁五分宛

式人

(朱書)

〔但同断〕

同拾之節

一、銀百八拾目

但老入九拾目宛

(朱書)

〔但同断〕

右式口平均老度分

銀貳百四拾七匁五分

熨斗目之節

一、銀三貫百九拾目

但老入百四拾五匁宛

白張着
御中間

七人

同

御小人

拾五人

(朱書)

〔但同断〕

同拾之節

一、銀老貫七百五匁

但老入七拾七匁五分宛

(朱書)

〔但同断〕

右式口平均老度分

銀貳貫四百四拾七匁五分

熨斗目之節

一、銀貳百五匁

(朱書)

〔但同断〕

同拾之節

一、銀百三拾七匁五分

龜井坊

壹人

(朱書)

〔但同断〕

右式口平均老度分

銀百七拾老匁貳分五厘

一、銀老貫六百九拾壹匁

但老入拾九匁宛

御中間

拾貳人

御小人

七拾七人

(朱書)

〔内貳拾貳人減

此銀四百拾八匁〕

小袖之節

一、銀六貫貳百三拾五匁

但老入百四拾五匁宛

御駕籠之者

四拾三人

(朱書)

〔内三人減

此銀四百三拾五匁〕

拾之節

一、銀四貫百九拾六匁八分

但老入九拾七匁六分宛

(朱書)

〔内三人減

此銀貳百九拾貳匁八分〕

右式口平均老度分

銀五貫貳百拾五匁九分

(朱書)

〔右式口減高平均老度分

銀三百六拾三匁九分〕

黒鍬之者

三拾七人

一、銀貳百七拾七匁五分

但老入七匁五分宛

(朱書)

〔内九人減

此銀六拾七匁五分〕

都合拾老貫九百八拾貳匁六分

(朱書)

〔減高都合老貫百七拾九匁四分〕

上野 御装束二而被為 成候節

綾縞小袖之節
一、銀七百拾八匁五分

但老貳百三拾九匁五分宛

(朱書)

〔但減方無御座候〕

御供組頭

老 人

御使組頭

貳 人

御先勤

御使組頭

老 人

一、銀八拾貳匁

(朱書)

〔但此分相減申候〕

御中間目付

御小人目付

六拾貳人

御中間押

御小人押

貳拾六人

御玄關番

六 人

一、銀貳貫八百貳拾目

但老貳人三拾目宛

(朱書)

〔内四拾三人減 此銀老貫貳百九拾目〕

綾縞小袖之節

一、銀三百六拾貳匁貳分

但老貳人百八拾老匁老分宛

(朱書)

〔但減方無御座候〕

御日傘役

老 人

御草履取役

老 人

退紅綾縞

一、銀三百拾五匁

但老貳人百五拾七匁五分宛

(朱書)

〔但同断〕

御草履取役

貳 人

熨斗目之節

白張着御中間

一、銀三貫百九拾目

但老貳人百四拾五匁宛

(朱書)

〔但同断〕

同御小人

拾五人

七 人

一、銀貳百五匁

(朱書)

〔但同断〕

龜井坊

老 人

一、銀貳貫九百六拾四匁

但老貳人拾九匁宛

御中間

三拾六人

御小人

百貳拾人

(朱書)

〔内四拾八人減 此銀九百拾貳匁〕

装束

一、銀七貫貳百五拾匁

但老貳人百四拾五匁宛

(朱書)

〔内拾三人減 此銀老貫八百八拾五匁〕

御駕籠之者

五拾人

平服

一、銀四貫九百貳拾三匁七分

但老貳人九拾貳匁九分宛

(朱書)

〔内拾三人減 此銀老貫貳百七匁七分〕

同

五拾三人

一、銀九百七拾五匁

但老貳人七匁五分宛

(朱書)

〔内三拾人減 此銀貳百貳拾五匁〕

黒鍬之者

百三拾人

都合貳拾三貫八百五匁四分

(朱書)

〔減高都合五貫六百老匁七分〕

増上寺 御装束二而被為 成候節

綾縞小袖

一、銀七百拾八匁五分
但老人貳百三拾九匁五分宛

(朱書)

〔但減方無御座候〕

御供組頭

老 人

御使組頭

貳 人

御先勤

御使組頭

老 人

一、銀八拾貳匁

(朱書)

〔但此分相減申候〕

御中間目付

御小人目付

六拾老 人

御中間押

御小人押

貳拾六 人

御玄關番

六 人

一、銀貳貫七百九拾匁

但老 人三拾匁宛

(朱書)

〔内四拾貳人減 此銀老貫貳百六拾匁〕

綾縞小袖之節

一、銀三百六拾貳匁貳分

但老 人百八拾老匁老分宛

御日傘役

老 人

御草り取役

老 人

(朱書)

〔但減方無御座候〕

退紅綾縞

一、銀三百拾五匁

但老 人百五拾七匁五分宛

(朱書)

〔但同斷〕

御草履取役

貳 人

熨斗目

白張着御中間

一、銀三貫百九拾匁

但老 人百四拾五匁宛

(朱書)

〔但同斷〕

七 人
同御小人
拾五人

一、銀貳百五匁

(朱書)

〔但同斷〕

龜井坊

老 人

一、銀貳貫九百四拾五匁

但老 人拾九匁宛

御中間

三拾六 人

御小人

百拾九 人

(朱書) 〔三人〕

(朱書)

〔内三拾三人減

此銀六百貳拾七匁〕

御駕籠之者

五拾 人

装束

一、銀七貫貳百五拾匁

但老 人百四拾五匁宛

(朱書)

〔内拾三人減

此銀老貫八百八拾五匁〕

同

五拾三 人

一、銀四貫九百貳拾三匁七分

但老 人九拾貳匁九分宛

(朱書) (人九)

〔内拾三匁減

此銀老貫貳百七匁五分〕

黒鍬之者

百三拾 人

一、銀九百七拾五匁

但老 人七匁五分宛

(朱書)

〔内三拾人減

此銀貳百貳拾五匁〕

都合貳拾三貫七百五拾六匁四分

(朱書)

〔減高都合五貫貳百八拾六匁七分〕

紅葉山 御長袴二而被為 成候節

綾縞小袖之節

一、銀七百拾八匁五分

但老入貳百三拾九匁五分宛

御供組頭

老 人

御使組頭

貳 人

(朱書)

「但減方無御座候」

同拾之節

一、銀五百拾六匁

但老入百七拾貳匁宛

夏中

一、銀貳百四拾六匁

但老入八拾貳匁宛

(朱書)

「但同斷」

右三口平均老度分

銀四百九拾三匁五分

御中間目付

御小人目付

貳拾四人

御中間押

御小人押

拾貳人

(朱書)

「内拾老入減」

此銀三百三拾匁

綾縞小袖之節

一、銀七百貳拾四匁四分

但老入百八拾老匁壹分宛

御日傘役

老 人

御草履取役

三人

(朱書)

「但減方無御座候」

同拾之節

一、銀四百五拾四匁四分

但老入百拾三匁六分宛

(朱書)

「但同斷」

帷子之節

一、銀百七拾四匁四分

但老入四拾三匁六分宛

(朱書)

「但同斷」

右三口平均老度分

銀四百五拾老匁六厘六毛余

御中間

貳拾老入

御小人

九拾七人

(朱書)

「内貳拾貳人減」

此銀四百拾八匁

小袖之節

一、銀貳貫五百八匁三分

但老入九拾貳匁九分宛

(朱書)

「内五人減」

此銀四百六拾四匁五分

御駕籠之者

貳拾七人

拾之節

一、銀老貫貳百九拾三匁三分

但老入四拾七匁九分宛

(朱書)

「内五人減」

此銀貳百三拾九匁五分

單物之節

一、銀七百五拾匁六分

但老入貳拾七匁八分宛

(朱書)

「内五人減」

此銀百三拾九匁

右三口平均老度分

銀老貫五百拾七匁四分

(朱書)
「右三口減高平均壹度分
銀貳百八拾壹匁」

一、銀貳百貳匁五分

但壹人七匁五分宛

(朱書)

「內六人減

此銀四拾五匁」

都合五貫九百八拾六匁四分六厘六毛余

(朱書)

「減高都合壹貫七拾四匁」

上野 御長袴ニ而被為 成候節

綾縞小袖之節

一、銀七百拾八匁五分

但壹人貳百三拾九匁五分宛

(朱書)

「但減方無御座候」

同拾之節

一、銀五百拾六匁

但壹人百七拾貳匁宛

(朱書)

「但同斷」

夏中

一、銀貳百四拾六匁

但壹人八拾貳匁宛

(朱書)

「但同斷」

右三口平均壹度分

銀四百九拾三匁五分

一、八拾貳匁

黒鍬之者

貳拾七人

御供組頭

壹人

御使組頭

貳人

(朱書)
「但此分相減申候」

一、銀貳貫五百八拾匁

但壹人三拾匁宛

(朱書)
「內三拾五人減 此銀壹貫五拾匁」

綾縞小袖之節

一、銀七百拾四匁四分

但壹人百八拾壹匁壹分宛

(朱書)

「但減方無御座候」

同拾之節

一、銀七百五拾四匁四分

但壹人百拾三匁六分宛

(朱書)

「但同斷」

帷子之節

一、銀百七拾四匁四分

但壹人四拾三匁六分宛

右三口平均壹度分

銀四百五拾壹匁六厘六毛余

一、銀貳貫 百 拾 匁

但壹人拾九匁宛

(朱書)
「內三拾五人減」

御中間目付

御小人目付

五拾四人

御中間押

御小人押

貳拾六人

御玄關番

六人

御日傘役

壹人

御草履取役

三人

御中間

拾 人△

御小人

百拾人

下ケ札

御馬牽人

拾三人

△
右之分洩ニ相成居候間奉願候処、当午五月十八日書面之通以来被下置候旨被仰渡候ニ付、右相増三拾貳人ニ相成申候

午六月

御中間頭

御駕籠之者

四拾四人

小袖之節

一、銀四貫八拾七匁六分

但老入九拾貳匁九分宛

(朱書)

〔内四人減

此銀三百七拾老匁六分〕

拾之節

一、銀貳貫百七匁六分

但老入四拾七匁九分宛

(朱書)

〔内四人減

此銀百九拾老匁六分〕

單物之節

一、銀老貫貳百貳拾三匁貳分

但老入貳拾七匁八分宛

(朱書)

〔内四人減

此銀百拾老匁貳分〕

右三口平均老度分

銀貳貫四百七拾貳匁八分

(朱書)

〔右三口減高平均老度分

銀貳百貳拾四匁八分〕

黒鍬之者

百拾人

一、銀八百貳拾五匁

但老入七匁五分宛

(朱書)

〔内貳拾六人減

此銀百九拾五匁〕

都合九貫三百五拾五匁三分六厘六毛余

(朱書)

〔減高都合貳貫貳百拾六匁八分〕

増上寺 御長袴ニ而被為 成候節

綾綺小袖之節

一、銀七百拾八匁五分

但老入貳百三拾九匁五分宛

(朱書)

〔但減方無御座候〕

同拾之節

一、銀五百拾六匁

但老入百七拾貳匁宛

(朱書)

〔但同斷〕

夏中

一、銀貳百四拾六匁

但老入八拾貳匁宛

(朱書)

〔但同斷〕

右三口平均老度分

銀四百九拾三匁五分

御先勤

御使組頭

老 人

一、銀八拾貳匁

(朱書)

〔但此分相減申候〕

御中間目付

御小人目付

五拾三人

一、銀貳貫五百五拾匁

御供組頭

老 人

御使組頭

貳 人

但老三人拾匁宛

御中間押
御小人押
式拾六人

御玄關番
六人

(朱書)

〔内三拾四人減 此銀壹貫貳拾匁〕

綾縞小袖之節

一、銀七百貳拾四匁四分

但老一人百八拾壹匁壹分宛

御日傘役
老一人

御草履取役
三人

(朱書)

〔但減方無御座候〕

同衿之節

一、銀四百五拾四匁四分

但老一人百拾三匁六分宛

(朱書)

〔但同斷〕

帷子之節

一、銀百七拾四匁四分

但老一人四拾三匁六分宛

(朱書)

〔但同斷〕

右三口平均老度分
銀四百五拾壹匁六厘六毛余

一、銀貳貫三百九拾四匁

但老一人拾九匁宛

(朱書)

〔内三拾貳人減 此銀六百八匁〕

下ケ札

△御馬牽人 拾三人増前同斷

小袖之節

一、銀四貫八拾七匁六分

但老一人九拾貳匁九分宛

(朱書)

〔内四人減 此銀三百七拾壹匁六分〕

衿之節

一、銀貳貫百七匁六分

但老一人四拾七匁九分宛

(朱書)

〔内四人減 此銀百九拾壹匁六分〕

單物之節

一、銀壹貫貳百貳拾三匁貳分

但老一人貳拾七匁八分宛

(朱書)

〔内四人減 此銀百拾壹匁貳分〕

右三口平均老度分
銀貳貫四百七拾貳匁八分

(朱書)

〔右三口減高平均老度分
銀貳百貳拾四匁八分〕

黒鍬之者
百拾人

一、銀八百貳拾五匁

但老一人七匁五分宛

(朱書)

〔内貳拾六人減 此銀百九拾五匁〕

都合九貫貳百六拾八匁三分六厘六毛

(朱書)

〔減高都合貳貫百貳拾九匁八分〕

西丸 御成之節

一、銀八拾貳匁

御使組頭
老一人

〔朱書〕
「但減方無御座候」

一、銀六百六拾匁
但老三人拾匁宛

御中間目付
御小人目付
貳拾人
御玄關番
貳人

〔朱書〕
「内拾三人減
此銀三百九拾匁」

一、銀老貫五百七拾七匁
但老一人拾九匁宛

御中間
拾老人
御小人
七拾貳人

〔朱書〕
「内貳拾三人減
此銀四百三拾七匁」

小袖之節
一、銀貳貫百三拾六匁七分

御駕籠之者
貳拾三人

〔朱書〕
「内五人減
此銀四百六拾四匁五分」

拾之節
一、銀老貫百老匁七分

〔朱書〕
但老一人四拾七匁九分宛

〔朱書〕
「内五人減
此銀貳百三拾九匁五分」

單物之節
一、銀六百三拾九匁四分

〔朱書〕
但老一人貳拾七匁八分宛

〔朱書〕
「内五人減
此銀百三拾九匁」

右三口平均老度分

〔朱書〕
銀老貫貳百九拾貳匁六分

〔朱書〕
「右三口減高平均老度分」

銀貳百八拾老匁」

黒鍬之者

拾四人

一、銀百五匁
但老一人七匁五分宛

〔朱書〕

「内四人減
此銀三拾匁」

御挑灯御用立候節

同

一、銀貳百貳匁五分

貳拾七人

〔朱書〕
但同斷

「内六人減
此銀四拾五匁」

右貳口平均老度分

〔朱書〕
銀百五拾三匁七分五厘

「右貳口減高老度分
銀三拾七匁五分」

〔朱書〕
都合三貫七百六拾五匁三分五厘

「減高都合老貫百四拾五匁五分」

二九 御成之節

御使組頭

老一人

一、銀八拾貳匁

〔朱書〕

「但減方無御座候」

御中間目付
御小人目付

拾五人

一、銀四百五拾匁

〔朱書〕
但老一人三拾匁宛

「内九人減
此銀貳百七拾匁」

御中間

拾老人

一、銀老貫貳百三拾五匁

但老人拾九匁宛

御小人
五拾四人

(朱書)

〔内拾五人減

此銀貳百八拾五匁〕

小袖之節

御駕籠之者

一、銀貳貫百三拾六匁七分

貳拾三人

但老人九拾貳匁九分宛

(朱書)

〔内五人減

此銀四百六拾四匁五分〕

袷之節

一、銀壹貫百壹匁七分

但老人四拾七匁九分宛

(朱書)

〔内五人減

此銀貳百三拾九匁五分〕

單物之節

一、銀六百三拾九匁四分

但老人貳拾七匁八分宛

(朱書)

〔内五人減

此銀百三拾九匁〕

右三口平均壹度分

銀壹貫貳百九拾貳匁六分

(朱書)

〔右三口減高平均壹度分

銀貳百八拾壹匁〕

黒鍬之者

拾四人

一、銀百五匁

但老人七匁五分宛

(朱書)

〔内四人減

此銀三拾目〕

御挑灯御用立候節

銀貳百貳匁五分

但同斷

(朱書)

〔内六人減

此銀四拾五匁〕

黒鍬之者

貳拾七人

右貳口平均壹度分

銀百五拾三匁七分五厘

(朱書)

〔右貳口減高平均壹度分

銀三拾七匁五分〕

都合三貫貳百拾三匁三分五厘

(朱書)

〔減高都合八百七拾三匁五分〕

(朱書)

〔〇〕三丸 御成之節

一、銀八拾貳匁

(朱書)

〔但減方無御座候〕

御使組頭
壹人

一、銀四百五拾匁

但老人三拾匁宛

(朱書)

〔内九人減

此銀貳百七拾匁〕

御中間目付
御小人目付
拾五人

一、銀壹貫百九拾七匁

但老人拾九匁宛

(朱書)

〔内拾四人減

此銀貳百六拾六匁〕

御中間
拾老人
御小人
五拾貳人

小袖之節

一、銀貳貫百三拾六匁七分

但老人九拾貳匁九分宛

(朱書)

〔内五人減

此銀四百六拾四匁五分〕

御駕籠之者
貳拾三人

袷之節

銀壹貫百壹匁七分

但老入四拾七匁九分宛

(朱書)

〔内五人減

此銀貳百三拾九匁五分〕

單物之節

銀六百三拾九匁四分

但老入貳拾七匁八分宛

(朱書)

〔内五人減

此銀百三拾九匁〕

右三口平均老度分

銀壹貫貳百九拾貳匁六分

(朱書)

〔右三口減高平均老度分

銀貳百八拾壹匁〕

一、銀百五匁

但老入七匁五分宛

(朱書)

〔内四人減

此銀三拾匁〕

御桃灯御用立候節

銀貳百貳匁五分

但同斷

(朱書)

〔内六人減

此銀四拾五匁〕

右貳口平均老度分

銀百五拾三匁七分五厘

都合三貫百七拾五匁三分五厘

(朱書)

〔○〕吹上 御成之節

一、銀八拾貳匁

(朱書)

〔但減方無御座候〕

黒楸之者

拾四人

同

貳拾七人

一、銀五百拾匁

但老入三拾匁宛

(朱書)

〔内九人減

此銀貳百七拾匁〕

中間目付

御小人目付

拾七人

御中間

拾老入

御小人

四拾九人

一、銀壹貫百四拾匁

但老入拾九匁宛

(朱書)

〔内拾貳人減

此銀貳百貳拾八匁〕

大的

上覽之節

銀貳百四拾七匁

但同斷

(朱書)

〔内五人減

此銀九拾五匁〕

御小人

拾三人増

右之外不時 上覽之節拝見被 仰付候得共御老中方・若年寄衆・

御側衆御用御銘々老入ツ、是迄御断次第差出申候、右者不時之

儀ニ付相除申候

右貳口平均老度分

銀六百九拾三匁五分

(朱書)

〔右貳口平均老度分

銀百六拾壹匁五分〕

御駕籠之者

貳拾人

小袖之節

一、銀壹貫八百五拾八匁

但老入九拾貳匁九分ツ、

(朱書)

〔内五人減

此銀四百六拾四匁五分〕

拾之節

銀九百五拾八匁

但老入四拾七匁九分ツ、

〔朱書〕
「内五人減
此銀貳百三拾九匁五分」

單物之節
銀五百五拾六匁

但老人貳拾七匁八分ツ、

〔朱書〕
「内五人減
此銀百三拾九匁」

右三口平均壹度分
銀壹貫百貳拾四匁

〔朱書〕
〔平均脱力〕
「右三口減高壹度分
銀貳百八拾壹匁」

一、銀百貳拾七匁五分
但老人七匁五分ツ、

黒楸之者
拾七人

〔朱書〕
「内七人減
此銀五拾貳匁五分」

御挑灯御用立候節

銀貳百六拾貳匁五分

但同斷

同

三拾五人

〔朱書〕
「内八人減
此銀六拾匁」

上覽物之節

銀三百七拾五匁

但同斷

同

五拾人

〔朱書〕
「内貳拾貳人減
此銀百六拾五匁」

右三口平均壹度分
銀貳百五拾五匁

〔朱書〕
「右三口減高平均壹度分
銀九拾貳匁五分」

都合貳貫六百六拾四匁五分

〔朱書〕
「減高都合八百五匁」

〔朱書〕
「〇」吹上御庭より御三卿方屋形 御立寄之節

一、銀三百貳拾八匁
但老人八拾貳匁宛

御供組頭
壹人
御使組頭
三人

〔朱書〕
「内老人減
此銀八拾貳匁」

一、銀貳貫三百七拾匁
但老人三拾匁ツ、

御中間目付
御小人目付
五拾三人
御中間押
御小人押
貳拾六人

〔朱書〕
「内貳拾五人減
此銀七百五拾匁」

一、銀三貫六百八拾六匁
但老人拾九匁ツ、

御中間
三拾九人
御小人
百五拾五人

〔朱書〕
「内三拾老人減
此銀五百八拾九匁」

小袖之節
一、銀三貫三百四拾四匁四分
但老人九拾貳匁九分宛

御駕籠之者
三拾六人

〔朱書〕
「内九人減
此銀八百三拾六匁壹分」

袷之節
銀壹貫七百貳拾四匁四分
但老人四拾七匁九分ツ、

〔朱書〕
「内九人減
此銀四百三拾壹匁壹分」

單物之節

銀老貫目八分

但老人貳拾七匁八分宛

(朱書)

〔内九人減 此銀貳百五拾匁貳分〕

右三口平均老度分

銀貳貫貳拾三匁貳分

(朱書)

〔右三口減高平均老度分

銀五百五匁八分〕

一、銀老貫貳百三拾七匁五分

但老人七匁五分宛

(朱書)

〔内三拾人減 此銀貳百貳拾五匁〕

都合九貫六百四拾四匁七分

(朱書)

〔減高都合貳貫百五拾老匁八分〕

(朱書)

〔〇〕一ツ橋明地江 御成之節

一、銀貳百四拾六匁

但老人八拾貳匁宛

(朱書)

〔但減方無御座候〕

一、銀老貫七百拾匁

但老人三拾匁ツ、

黒鍬之者

百六拾五人

御供組頭

老人

御使組頭

貳人

御中間目付

御小人目付

三拾三人

御中間押

御小人押

貳拾四人

(朱書)

〔内拾五人減

此銀四百五拾五匁〕

一、銀三貫貳百四拾九匁

但老人拾九匁ツ、

(朱書)

〔内三拾老人減

此銀五百八拾九匁〕

小袖之節

一、銀貳貫貳百六拾老匁六分

但老人百貳匁八分ツ、

(朱書)

〔内五人減

此銀五百拾四匁〕

拾之節

一、銀老貫貳百七拾老匁六分

但老人五拾七匁八分ツ、

(朱書)

〔内五人減

此銀貳百八拾九匁〕

單物之節

銀八百貳拾九匁四分

但老人三拾七匁七分ツ、

(朱書)

〔内五人減

此銀百八拾八匁五分〕

右三口平均老度分

銀老貫四百五拾四匁貳分

(朱書)

〔右三口減高平均老度分

銀三百三拾匁五分〕

一、銀九百七拾五匁

但老人七匁五分ツ、

(朱書)

〔内三拾人減

此銀貳百貳拾五匁〕

御中間

三拾貳人

御小人

百三拾九人

御駕籠之者

貳拾貳人

黒鍬之者

百三拾人

都合七貫六百三拾四匁式分

(朱書)

〔〇〕浜御庭江 御成之節

一、銀三百式拾八匁

但老八拾式匁ツ、

御供組頭
老 人

御使組頭
三 人

(朱書)

〔内老八人減

此銀八拾式匁〕

御中間目付

御小人目付

四拾五人

御中間押

御小人押

式拾六人

御玄關番

八 人

(朱書)

〔内式拾九人減

此銀八百七拾匁〕

御中間

四拾人

御小人

百四拾八人

一、銀三貫五百七拾式匁

但老八拾九匁ツ、

(朱書)

〔内四拾八人減

此銀九百拾式匁〕

本文御小人百四拾八人之外浜吟味役下役式人前

々之通組込候積り、御小人頭榊原栄五郎江申渡

候事

(朱書)
〔〇〕

七月

庄兵衛

勘三郎

前文別段不申上承置候事

一太郎

小袖之節

一、銀四貫三百拾七匁六分

(朱書)

但老八「百式」匁八分ツ、

(朱書)

〔内拾八人減

此銀壹貫式拾八匁〕

裕之節

一、銀式貫四百式拾七匁六分

但老八五拾七匁八分ツ、

(朱書)

〔内拾八人減

此銀三百七拾七匁〕

單物之節

一、銀壹貫五百八拾三匁四分

但老八三拾三匁七分ツ、

(朱書)

〔内拾八人減

此銀三百七拾七匁〕

右三口平均老度分

銀式貫七百七拾六匁式分

(朱書)

〔右三口減高平均老度分

銀六百六拾老匁〕

一、銀壹貫三百拾式匁五分

但老八七匁五分ツ、

(朱書)

〔内式拾五人減

此銀百八拾七匁五分〕

都合拾貫三百五拾八匁七分

(朱書)

〔減高都合式貫七百拾式匁五分〕

御駕籠之者

四拾式人

黒鍬之者

百七拾五人

御供組頭

老 人

但老八拾貳匁ツ、

御使組頭
四人

〔朱書〕
〔内老八減〕
此銀八拾貳匁

一、銀貳貫五百貳拾匁
但老八三拾匁ツ、

御中間目付
御小人目付
五拾人
御中間押
御小人押
貳拾六人
御玄關番
八人

〔朱書〕
〔内貳拾八減〕
此銀六百匁

一、銀五貫九百四拾七匁
但老八拾九匁ツ、

御中間
七拾六人
御小人
貳百三拾七人

〔朱書〕
〔内四拾八減〕
此銀七百六拾匁

小袖之節

銀五貫九百六拾貳匁四分
但老八百貳匁八分ツ、

御駕籠之者
五拾八人

〔朱書〕
〔内八八減〕
此銀八百貳拾貳匁四分

拾之節

銀三貫三百五拾貳匁四分
但老八五拾七匁八分ツ、

〔朱書〕
〔内八八減〕
此銀四百六拾貳匁四分

單物之節

銀貳貫百八拾六匁六分
但老八三拾七匁七分ツ、

〔朱書〕
〔内八八減〕
此銀三百老匁六分

右三口平均老度分

銀三貫八百三拾三匁八分

〔朱書〕
〔右三口減高平均老度分〕
銀五百貳拾八匁八分

一、銀老貫三百五拾匁

但老八七匁五分ツ、

黒鍬之者
百八拾人

〔朱書〕
〔内貳拾八減〕
此銀百五拾匁

都合拾四貫六拾匁八分

〔朱書〕
〔減高都合貳貫百貳拾匁八分〕

〔朱書〕
〔〇〕六郷筋 御成之節

一、銀四百拾匁

但老八八拾貳匁ツ、

御供組頭
壹人
御使組頭
四人

〔朱書〕
〔内老八減〕
此銀八拾貳匁

一、銀貳貫五百八拾匁

但老八三拾匁ツ、

御中間目付
御小人目付
五拾四人
御中間押
御小人押
貳拾四人
御玄關番
八人

〔朱書〕
〔但貳拾八減〕
此銀六百目

一、銀六貫百三拾七匁

御中間
六拾九人

但老人拾九匁ツ、

御小人

貳百五拾四人

(朱書)

〔内四拾人減〕

此銀七百六拾匁

小袖之節

一、銀七貫八百拾貳匁八分

御駕籠之者

七拾六人

但老人百貳匁八分ツ、

(朱書)

〔内拾人減〕

此銀壹貫貳拾八匁

袷之節

銀四貫三百九拾貳匁八分

但老人五拾七匁八分ツ、

(朱書)

〔内拾人減〕

此銀五百七拾八匁

單物之節

銀貳貫八百六拾五匁貳分

但老人三拾七匁七分ツ、

(朱書)

〔内拾人減〕

此銀三百七拾七匁

右三口平均老度分

銀五貫貳拾三匁六分

(朱書)

〔右三口減高平均老度分〕

銀六百六拾老匁

黒鍬之者

百八拾人

一、銀壹貫三百五拾匁

但老人七匁五分宛

(朱書)

〔内貳拾人減〕

此銀百五拾匁

都合拾五貫五百匁六分

(朱書)

〔減高都合貳貫貳百五拾三匁〕

(朱書)

〔〇〕駒場野 御成之節

御供組頭

老 人

御使組頭

三人

一、銀三百貳拾八匁

但老人八拾貳匁宛

(朱書)

〔内老人減〕

此銀八拾貳匁

一、銀貳貫八百八拾匁

但老人三拾匁ツ、

御中間目付

御小人目付

六拾貳人

御中間押

御小人押

貳拾六人

御玄關番

八人

(朱書)

〔内三拾四人減〕

此銀壹貫貳拾匁

御中間

五拾九人

御小人

百七拾四人

一、銀四貫四百貳拾七匁

但老人拾九匁ツ、

(朱書)

〔内四拾貳人減〕

此銀七百九拾八匁

御駕籠之者

四拾貳人

小袖之節

一、銀四貫三百拾七匁六分

但老人百貳匁八分ツ、

(朱書)

〔内拾人減〕

此銀壹貫貳拾八匁

袷之節

銀貳貫四百貳拾七匁六分

但老人五拾七匁八分ツ、

(朱書)

〔内拾人減〕

此銀五百七拾八匁

單物之節

銀壹貫五百八拾三匁四分

但壹人三拾七匁七分宛

(朱書)

〔内拾人減

此銀三百七拾七匁〕

右三口平均壹度分

銀貳貫七百七拾六匁貳分

(朱書)

〔右三口平均壹度分

銀六百六拾壹匁〕

一、銀壹貫八拾七匁五分

但壹人七匁五分ツ、

(朱書)

〔内貳拾五人減

此銀百八拾七匁五分〕

都合拾壹貫四百九拾八匁七分

(朱書)

〔減高都合貳貫七百四拾八匁五分〕

(朱書)

〔〇〕山之手遠 御成之節

一、銀三百貳拾八匁

但壹人八拾貳匁宛

(朱書)

〔内壹人減

此銀八拾貳匁〕

一、銀貳貫八百五拾匁

但壹人三拾匁宛

黒鍬之者

百四拾五人

御供組頭

壹人

御使組頭

三人

御中間目付
御小人目付

六拾壹人

御中間押

御小人押

貳拾六人

御玄關番

八人

(朱書)

〔内三拾四人減

此銀壹貫貳拾匁〕

一、銀四貫六百三拾六匁

但壹人拾九匁宛

御中間

四拾五人

御小人

百九拾九人

(朱書)

〔内四拾人減

此銀七百六拾匁〕

小袖之節

一、銀四貫三百拾七匁六分

但壹人百貳匁八分宛

御駕籠之者

四拾貳人

(朱書)

〔内拾人減

此銀壹貫貳拾八匁〕

拾之節

一、銀貳貫四百貳拾七匁六分

但壹人五拾七匁八分宛

(朱書)

〔内拾人減

此銀五百七拾八匁〕

單物之節

銀壹貫五百八拾三匁四分

但壹人三拾七匁七分宛

(朱書)

〔内拾人減

此銀三百七拾七匁〕

右三口平均壹度分

銀貳貫七百七拾六匁貳分

(朱書)

〔右三口減高平均壹度分

銀六百六拾壹匁〕

黒鍬之者

百四拾五人

一、銀壹貫八拾七匁五分

但壹人七匁五分宛

(朱書)

〔内貳拾五人減

此銀百八拾七匁五分〕

都合拾壹貫六百七拾七匁七分
(朱書)
「減高都合貳貫七百拾匁五分」

(朱書)

「○」川筋遠 御成之節

一、銀四百拾匁
但老八拾貳匁ツ、

(朱書)

「内貳人減

此銀百六拾四匁」

御供組頭 貳人
御使組頭 三人

一、銀貳貫五百八拾匁
但老八拾九匁ツ、

(朱書)

「内貳拾人減

此銀六百目」

御中間目付 御小人目付 五拾貳人
御中間押 御小人押 貳拾六人
御玄關番 八人

一、銀四貫五百四拾壹匁
但老八拾九匁ツ、

(朱書)

「内四拾人減

此銀七百六拾匁」

御中間 五拾六人
御小人 百八拾三人

小袖之節
一、銀四貫三百拾七匁六分
但老八拾九匁八分ツ、

(朱書)

「内拾人減

此銀老貫貳拾八匁」

拾之節
銀貳貫四百貳拾七匁六分

御駕籠之者 四拾貳人

但老八拾七匁八分ツ、
(朱書)
「内拾人減 此銀五百七拾八匁」

單物之節

銀老貫五百八拾三匁四分

但老八拾七匁七分ツ、

(朱書)

「内拾人減

此銀三百七拾七匁」

右三口平均老度分

(朱書)

「右三口減高平均老度分 銀貳貫七百七拾六匁貳分

銀六百六拾壹匁」

一、銀老貫三百拾貳匁五分

但老八拾七匁五分ツ、

(朱書)

「内貳拾五人減

此銀百八拾七匁五分」

黒鍬之者 百七拾五人

都合拾壹貫六百拾九匁七分

(朱書)

「減高都合貳貫三百七拾貳匁五分」

右口々々

銀百八拾八貫九百六拾八匁貳分四厘八毛

此金三千百四拾九兩壹分

銀拾三匁貳分四厘八毛

(朱書)

「右口々々減高

銀三拾九貫八百三拾壹匁

此金六百六拾三兩三分

銀六匁」

右者旧臘被 仰出候御趣意ニ付 御成之節濡御手当減方取調候
処書面之通御座候、尤 御大札等ニ而束帶衣冠之御行列敷、御

法事濟御參詣敷 御成之御場所ニ寄御馬 御早召 御片馬等
之節者御馬并御貸馬・手馬之牽人御替、御道具御先江相廻り候
節敷、亦者御老中方・若年寄衆・御側衆等御定例之外ニ御越被成
候節、且御同道 御成之節又者臨時奥向より之御人断ニ而附添宰
領物、附人其外者其節之時宜ニ寄、人数之動キも御座候得共、右
本文之通ハ全ク御定例之 御成之処ヲ嚴敷評儀詰省略仕候儀ニ
御座候間、左候得者以来右取調之趣を定法ニ仕、可成丈ケ人数
不相増様 仕、若又無扨筋者其節々吟味詰、聊も御費無之様取調
御断書面差上候様可仕候、右此度減方取調候趣意者は迄多人数
ニ而相勤候廉々も此度より兼勤相成候分者相改、且申上候も恐入
候儀ニ御座候得共、御玄関番杯敷諸家之用頼ヲ受贈物も御座候
勤柄ニ付右之処者別而減少仕、両山本坊丈之玄関江御先勤罷出候
も是迄者濡御手当被下候得共此度より不被下事ニ仕、其外右ニ准
し 御成ニ付候出役ニ而も傘相用不苦候 御目遠之動者は又
以後相省キ極々手詰之取調ニ御座候得共此上之減方ハ難仕御座
候、若此上減少仕候而者自然御差支之儀者難計、御行列之御規定
も動キ候次第不及下々之人氣ニも拘り候儀ニ御座候、元来平御
中間・御小人・御駕籠之者・黒鍬之者杯者御切米・濡御手当之外
者別段受納物も無御座候、畢竟右御手当を以妻子扶助之一助ニ
も御座候間、是等之処者兼勤為仕又者御用意通ニ宛置候人数等相
省キ、全ク事実之処を以取調候儀ニ御座候、左候得者本文之通を
以以後取極ニ仕候、尤 御成御場所ニ寄異同者有之候得共右取
調見合御断書面差上候様可仕候、依之此段奉伺候、以上

二月

御目付

△
本文御馬并手馬等牽人之儀者 御成之模様ニ
寄其時々不同御座候ニ付、減少之儀取極難申上
候得共、是迄尅正ニ付牽人・手代り共四人宛ニ御
座候処、此度相減手代共三人宛之積リヲ以取調
申上候心得ニ御座候

覚

都而伺之通可被取計候事

御目付承之

黒鍬之者頭
御中間頭
御小人頭
西丸御駕籠者頭

西丸支配向濡御手当減方伺濟帳面尅冊相達申候、写取早々承付
可致返却候、且割合方之儀者都而 御本丸ニ准シ割合可申候事

三月

林 内蔵頭

主膳正殿

未十二月廿六日上ル、申三月四日
御書取添御下ケ、致承付返上

書面支配向濡御手当減方之儀、帳面尅冊入御覽
御内慮奉伺候処、御書取ヲ以被仰渡候旨承知仕
候

三月四日

林 内蔵頭

林 内蔵頭

先達而御書取を以被仰渡候西丸支配向濡御手当之儀、成丈ヶ減
方仕可申上旨被仰渡候ニ付 御本丸伺済江引競得与勘考仕減方
取調候帳面老冊奉入御覽御内慮奉伺候、以上

十二月

御成之節支配向濡御手当
減方之儀取調奉伺候書付

林 内蔵頭

紅葉山 御宮 御装束ニ而被為

成候節

綾島小袖之節

一、七百拾八匁五分

但老人貳百三拾九匁五分宛

御供組頭

老 人

御使組頭

貳 人

(朱書)

「但減方無御座候」

同拾之節

五百拾六匁

但老人百七拾貳匁宛

(朱書)

「但同断」

右二口平均老度分
六百拾七匁貳分五厘

一、老貫貳拾目

但老人三拾匁宛

御中間目付

御小人目付

貳拾貳人

御中間押

御小人押

拾貳人

(朱書)

「内拾貳人減

此銀三百六拾匁」

下ヶ札

○ 惣御靈屋 御参詣之節者、御老ヶ所ニ付御中間
目付・御小人目付ニ而三人増

御日傘役

老 人

御草履取役

老 人

綾島小袖

一、三百六拾貳匁貳分

但老人百八拾老匁分宛

(朱書)

「但減方無御座候」

同拾之節

貳百貳拾七匁貳分

但老人百拾三匁六分宛

(朱書)

「但同断」

右二口平均老度分
貳百九拾四匁七分

御参内傘持

御小人

老 人

御草履取役

貳 人

退紅綾島小袖之節
一、四百七拾貳匁五分

但老人百五拾七匁五分宛

(朱書)

「但同断」

同拾之節

貳百七拾匁

但老人九拾目宛

(朱書)

「但同断」

右二口平均老度分
三百七拾老匁貳分五厘

熨斗目之節

白張着
御中間

一、三貫百九拾匁
但老人百四拾五匁宛

同 七人
御小人 拾五人

(朱書)
「但同斷」

同拾之節

老貫七百五匁

但老人七拾七匁五分宛

(朱書)
「但同斷」

右二口平均老度分

貳貫四百四拾七匁五分

熨斗目之節

一、貳百五匁

(朱書)

「但同斷」

龜井坊 老人

同拾之節

百三拾七匁五分

(朱書)

「但同斷」

右二口平均老度分

百七拾老匁貳分五厘

一、老貫六百九拾老匁

但老人拾九匁宛

(朱書)

「内貳拾三人減

下ケ札

此銀四百三拾七匁」

御中間

拾貳人

御小人

七拾七人

㊦

㊦

惣御靈屋 御參詣之節者、御老ヶ所ニ付御小人
三人宛増

右人数七拾七人平均割合候得者老人ニ付銀拾六匁貳分
八厘五毛ニ相成申候、然ル処御小人数拾貳人御増、
御中間・御小人八拾九人平均仕候様被仰渡候間、老人
ニ付銀拾四匁〇八厘九毛相成、御中間拾貳人之端銀貳
拾六匁三分五厘貳毛御小人方江請取過ニ相成申候

御小人元人数
六拾五人之由
御中間同斷
拾貳人

小袖之節

一、六貫貳百三拾五匁

但老人百四拾五匁宛

(朱書)

「内三人減

此銀四百三拾五匁」

御駕籠之者

四拾三人

拾之節

四貫百九拾六匁八分

但老人九拾七匁六分宛

(朱書)

「内三人減

此銀貳百九拾貳匁八分」

右二口平均老度分

五貫貳百拾五匁九分

(朱書)

「右減高二口平均老度分

三百六拾三匁九分」

一、貳百七拾七匁五分

但老人七匁五分宛

(朱書)

「内九人減

此銀六拾七匁五分」

黒鍬之者

三拾七人 ㊦

下ケ札

③ 惣御靈屋 御参詣之節者、御壺ヶ所ニ付黒鍬之者 老人宛増

都合拾貳貫百六匁三分五厘

(朱書)

「減高都合壺貫貳百貳拾八匁四分」

紅葉山 御長袴ニ而被為 成候節

綾島小袖之節

一、七百拾八匁五分

但老人貳百三拾九匁五分宛

御供組頭

壺 人

御使組頭

貳 人

(朱書)

「但減方無御座候」

同拾之節

五百拾六匁

但老人百七拾貳匁宛

(朱書)

「但同断」

夏中

貳百四拾六匁

但老人

(朱書)

「但同断」

右三口平均壺度分

四百九拾三匁貳分

一、壺貫八拾匁

但老人三拾匁宛

御中間目付

御小人目付

貳拾四人

御中間押

御小人押

拾貳人

(朱書)

「内拾貳人減

此銀三百六拾匁」

下ケ札

④ 惣御靈屋 御参詣之節者、御壺ヶ所ニ付御中間目付・御小人目付ニ而三人増

綾島小袖之節

一、七百貳拾四匁四分

但老人百八拾壺匁壺分宛

御日傘役

壺 人

御草履取役

三 人

(朱書)

「但減方無御座候」

同拾之節

四百五拾四匁四分

但老人百拾三匁六分宛

(朱書)

「但同断」

帷子之節

百七拾四匁四分

但老人四拾三匁六分宛

(朱書)

「但同断」

右三口平均壺度分

四百五拾壺匁六厘六毛余

一、貳貫貳百四拾貳匁

但老人拾九匁宛

御中間

貳拾壺人

御小人

九拾七人

⑤

(朱書)

「内貳拾七人減

此銀五百拾三匁」

下ケ札

㊦ 惣御靈屋 御参詣之節者、御老ヶ所ニ付御小人宛増

本文紅葉山 御長袴ニ而 御参詣之節書留見
合無御座候ニ付 御装束 御参詣ニ准シ御割
渡被仰渡奉願候

小袖之節

一、貳貫五百八匁三分

但老人九拾貳匁九分宛

御駕籠之者

貳拾七人

袷之節

老貫貳百九拾三匁三分

但老人四拾七匁九分宛

此銀四百六拾四匁五分

〔内五人減
(朱書)〕

此銀貳百三拾九匁五分

單物之節

七百五拾匁六分

但老人貳拾七匁八分宛

〔内五人減
(朱書)〕

此銀百三拾九匁

右三口平均老度分

老貫五百拾七匁四分

(朱書)

〔右三口減高平均老度分
貳百八拾老匁〕

一、貳百貳匁五分

但老人七匁五分宛

黒鍬之者

貳拾七人㊦

(朱書)

〔内六人減

此銀四拾五匁〕

下ケ札

㊦ 惣御靈屋 御参詣之節者、御老ヶ所ニ付黒鍬之者
老人宛増

都合五貫九百八拾六匁四分六厘六毛余
(朱書)
〔減高都合老貫百九拾九匁〕

上野

御長袴ニ而被為

成候節

綾島小袖之節

一、七百拾八匁五分

但老人貳百三拾九匁五分宛

御供組頭

老 人

御使組頭

貳 人

(朱書)

〔但減方無御座候〕

同袷之節

五百拾六匁

但老人百七拾貳匁宛

(朱書)

〔但同断〕

夏中

貳百四拾六匁

但老人八拾貳匁宛

(朱書)

〔但同断〕

右三口平均老度分

四百九拾三匁五分

一、八拾貳匁

御先勤

御使組頭

老 人減

一、貳貫五百八拾匁
但老人三拾匁宛

御中間目付
御小人目付
五拾四人○

御中間押
御小人押
貳拾六人
御玄關番
六人

(朱書)
「内三拾五人減
此銀壹貫五拾匁」

下ケ札

○
惣御靈屋 御参詣之節者、御壹ヶ所ニ付御中間目付・御小人目付三人増

綾島小袖之節
一、七百貳拾四匁四分
但老人八百八拾壹匁分宛

御日傘役
老人
御草履取役
三人

(朱書)
「但減方無御座候」

同拾之節
四百五拾四匁四分
但老人百拾三匁六分宛

(朱書)
「但同断」

帷子之節
百七拾四匁四分
但老人四拾三匁六分宛

(朱書)
「但同断」

右三口平均壹度分
四百五拾壹匁六厘六毛余

一、貳貫六百九拾八匁

御中間
三拾貳人

但老人拾九匁宛

御小人
百拾人 ○

(朱書)
「内三拾五人減
此銀六百六拾五匁」

御小人元人数
七拾五人程之由
御中間同断
三拾貳人

右人数江是迄濡御手当御聞濟之处、此度御小人元人数三拾五人御増三拾五人分御減平均仕請取候様被仰渡候間、矢張是迄之通御中間・御小人銀拾九匁宛頂戴仕候而茂御減者無御座与奉存候、本文被 仰渡之通割合候得者御中間計老人ニ付銀四匁六分八厘四毛之御減相成、都合銀百四拾九匁八分八厘八毛御小人方江請取過ニ相成申候

但増上寺 御参詣元人数書留見合無御座候ニ付
上野 御参詣ニ御見競御割渡被仰渡候様奉願
候

下ケ札

○
惣御靈屋 御参詣之節者、御壹ヶ所ニ付御小人三人宛増

小袖之節
一、四貫八拾七匁六分
但老人九拾貳匁九分宛

(朱書)
「内四人減
此銀三百七拾壹匁六分」

御駕籠之者
四拾四人

裕之節

貳貫百七匁六分

但老人四拾七匁九分宛

(朱書)

「内四人減

此銀百九拾壹匁六分」

單物之節

壹貫貳百貳拾三匁貳分

但老人貳拾七匁八分宛

(朱書)

「内四人減

此銀百拾壹匁貳分」

右三口平均壹度分

貳貫四百七拾貳匁八分

(朱書)

「右三口減高平均壹度分

貳百貳拾四匁八分」

一、八百貳拾五匁

但老人七匁五分宛

(朱書)

「内貳拾六人減

此銀百九拾五匁」

下ケ札

㊦

惣御靈屋 御参詣之節者、御壹ヶ所ニ付黒鍬之者
老人宛増

都合九貫五百貳拾目三分六厘六毛余

(朱書)

「減高都合貳貫百七拾壹匁八分」

増上寺 御長袴ニ而被為 成候節

綾島小袖之節

一、七百拾八匁五分

但老人貳百三拾九匁五分宛

御供組頭

老人

御使組頭

貳人

(朱書)

「但減方無御座候」

同裕之節

五百拾六匁

但老人百七拾貳匁宛

(朱書)

「但同断」

夏中

貳百四拾六匁

但老人八拾貳匁宛

(朱書)

「但同断」

右三口平均壹度分

四百九拾三匁五分

一、八拾貳匁

黒鍬之者

百拾人㊦

一、貳貫五百五拾匁

但老人三拾匁宛

御先勤

御使組頭

老人減

御中間目付

御小人目付

五拾三人㊦

御中間押

御小人押

貳拾六人

御玄關番

六人

(朱書)

「内三拾四人減 此銀壹貫貳拾目」

下ケ札

㊦

惣御靈屋 御参詣之節者、御壹ヶ所ニ付御中間目
付・御小人目付ニ而三人増

綾島小袖之節

一、七百貳拾四匁四分

御日傘役

老人

但老人百八拾壹匁分宛

御草履取役
三人

(朱書)
「但減方無御座候」

同拾之節

四百五拾四匁四分

但老人百拾三匁六分宛

(朱書)
「但同斷」

帷子之節

百七拾四匁四分

但老人四拾三匁六分宛

(朱書)
「但同斷」

右三口平均老度分

四百五拾壹匁六厘六毛余

一、貳貫六百四拾壹匁

但老人拾九匁宛

(朱書)

「内三拾貳人減

下ケ札

此銀六百八匁」

御中間

三拾老人

御小人

百八人

㊦

㊦

惣御靈屋江 御参詣之節者、御老ヶ所ニ付御小人
三人宛増

小袖之節

一、四貫八拾七匁六分

但老人九拾貳匁九分宛

(朱書)

「内四人減

此銀三百七拾壹匁六分」

拾之節

貳貫百七匁六分

御駕籠之者

四拾四人

但老人四拾七匁九分宛

(朱書)

「内四人減

此銀百九拾壹匁六分」

單物之節

壹貫貳百貳拾三匁貳分

但老人貳拾七匁八分宛

(朱書)
「内四人減

此銀百拾壹匁貳分」

右三口平均老度分

貳貫四百七拾貳匁八分

(朱書)
「右三口減高平均老度分
貳百貳拾四匁八分」

一、八百貳拾五匁

但老人七匁五分宛

(朱書)

「内貳拾七人減

此銀百九拾五匁」

黒鍬之者

百拾人㊦

㊦

惣御靈屋江 御参詣之節者、御老ヶ所ニ付黒鍬之
者老人宛増

都合九貫四百三拾三匁三分六厘六毛

(朱書)
「減高都合貳貫百貳拾九匁八分」

西丸御駕籠台より西桔橋通

御本丸江

御成之節

一、八拾貳匁

(朱書)

「但減方無御座候」

御使組頭

老人

御中間目付

御小人目付

貳拾人

一、六百六拾匁

但老人三拾匁宛

御玄關番
貳人

一、六拾匁

但老人三拾匁宛

御中間目付
御小人目付

貳人○

下ケ札

○ 御時計附人右者

御本丸無之廉

御中間目付

御小人目付

貳人○

一、六拾匁

但同斷

下ケ札

○

西丸御裏御門 通御相濟御締附ニ而西丸大手御門より御玄（關脱力）前御門御台所前迄之往来附申渡

御中間

拾老人

御小人

七拾貳人

一、老貫五百七拾七匁

但老人拾九匁宛

（朱書）

〔内貳拾五人減

此銀四百七拾五匁〕

小袖之節

一、貳貫百三拾六匁七分

但老人九拾貳匁九分宛

（朱書）

〔内五人減

此銀四百六拾四匁五分〕

御駕籠之者

貳拾三人

袷之節

老貫百老匁七分

但老人四拾七匁九分宛

單物之節

六百三拾九匁四分

但老人貳拾七匁八分宛

（朱書）

〔内五人減

此銀百三拾九匁〕

（朱書）
〔内五人減

此銀貳百三拾九匁五分〕

右三口平均老匁度分

老貫貳百九拾貳匁六分

（朱書）

〔右三口減高平均老匁度分

貳百八拾老匁〕

御小人元人数
四拾七人数之由

右人数江濡御手当御聞濟之處、此度元人数七拾貳人ニ被成御中間拾老人御差加へ、御中間・御小人之合銀ニ而貳拾五人分御減相成候ニ付、元人数四拾七人分頂戴仕候而も老人分銀拾九匁宛頂戴仕候、然ル処御中間拾老人分御打込平均仕候様被仰渡候間、猶又各々御中間請取高之端銀六拾貳匁九分五厘三毛程請取過ニ相成申候

御中間元人数
拾貳人

拾貳人

右人数江濡御手当御聞濟之處、此度元人数老人御減剩

御小人方江打込平均割合候様被仰渡候間、老人ニ付銀

拾三匁貳分七厘七毛程ニ相成申候

黒楯之者

拾四人

一、百五匁

但老人七匁五分宛

(朱書)
「内四人減
此銀三拾匁」

御挑灯御用立候節
貳百貳匁五分
但同断

同

貳拾七人

(朱書)
「内六人減
此銀四拾五匁」

右二口平均壹度分
百五拾三匁七分五厘

(朱書)
「右二口減高平均壹度分
三拾七匁五分」

都合三貫七百六拾五匁三分五厘 ㊦

下ケ札

㊦ 御時計附人并、西丸御裏御門御締附ニ而往来附申
渡候、御中間目付・御小人目付四人ハ除

西丸石之間より 御本丸大広間御駕籠台より
御成之節

一、八拾貳匁
(朱書)
御使組頭
壹人

「但減方無御座候」

一、六百六拾匁
但壹人三拾匁宛

(朱書)
「内拾三人減
此銀三百九拾匁」

御中間目付
御小人目付
貳拾人
御玄關番
貳人
御中間目付
御小人目付

一、六拾匁
但壹人三拾匁宛
貳人 ㊦

㊦ 御時計附人右者 御本丸ニ無之廉

一、百貳拾匁
但壹人三拾匁宛
御中間目付
御小人目付
四人 ㊦

㊦ 御老若方御登 城始り并御揃之附人右者
御本丸ニ無之廉

一、六拾匁
但壹人三拾匁宛
御中間目付
御小人目付
貳人 ㊦

㊦ 西丸御裏御門 通御相済御締附ニ而西丸大手御
門より御玄關前御門御台所前迄之往来附申渡

本文
一、西丸石之間より 御本丸大広間御駕籠台江
御成之節
一、二丸 御成之節
一、三丸 御成之節

右之廉々御小人方人数見競無御座候ニ付外例
ニ御見合厚御勘弁奉願候
但西丸御駕籠台西桔橋通 御成之節之御
振合ヲ以御割渡被仰渡御座候様奉願候

一、老貫五百七拾七匁
但老人拾九匁宛
御中間
拾老人
御小人
七拾式人

(朱書)
「内式拾五人減
此銀四百七拾五匁」

小袖之節
一、式貫百三拾六匁七分
但老人九拾式匁九分宛
御駕籠之者
式拾三人

(朱書)
「内五人減
此銀四百六拾四匁五分」

袷之節
老貫百老匁七分
但老人四拾七匁九分宛

(朱書)
「内五人減
此銀貳百三拾九匁五分」

單物之節
六百三拾九匁四分
但老人貳拾七匁八分宛

(朱書)
「内五人減
此銀百三拾九匁」

右三口平均老度分
老貫貳百九拾式匁六分

(朱書)
「右三口減高平均老度分
貳百八拾老匁」

一、百五匁
但老人七匁五分宛
黒鍬之者
拾四人

(朱書)
「内四人減
此銀三拾匁」

御挑灯御用立候節
貳百貳匁五分
但同斷
同
式拾七人

(朱書)
「内六人減
此銀四拾五匁」

右貳口平均老度分
百五拾三匁七分五厘

(朱書)
「右貳口減高平均老度分
三拾七匁五分」

都合三貫七百六拾五匁三分五厘
△
「減高都合老貫百八拾三匁五分」

下ケ札

△
御時計附人并御老中方・若年寄衆御登 城御
揃附人、且西丸御裏御門御締附二而往来附申渡
候御中間目付・御小人目付八人者除

二丸 御成之節

一、八拾式匁
(朱書)
「但減方無御座候」

御使組頭
老 人

一、四百五拾匁
但老人三拾匁宛
御中間目付
御小人目付
拾五人

(朱書)
「内九人減
此銀貳百七拾匁」

一、六拾匁
但老人三拾匁宛
御中間目付
御小人目付
式 人 ⊖

○ 西丸御裏御門 通御相濟御締附^二而西丸大手御門より御玄関前御門御台所前迄之往来附申渡

一、壹貫貳百三拾五匁
但壹人拾九匁宛
御中間 拾壹人
御小人 五拾四人

〔朱書〕
〔内拾五人減〕 此銀貳百八拾五匁

小袖之節
一、貳貫百三拾六匁七分
但壹人九拾貳匁九分宛
御駕籠之者 貳拾三人

〔朱書〕
〔内五人減〕 此銀四百六拾四匁五分

袷之節
壹貫百壹匁七分
但壹人四拾七匁九分宛

〔朱書〕
〔内五人減〕 此銀貳百三拾九匁五分

單物之節
六百三拾九匁四分
但壹人貳拾七匁八分宛

〔朱書〕
〔内五人減〕 此銀百三拾九匁

右三口平均壹度分
壹貫貳百九拾貳匁六分

〔朱書〕
〔右三口減高平均壹度分〕
貳百八拾壹匁

一、百五匁
但壹人七匁五分宛
〔朱書〕
〔内四人減〕 此銀三拾匁
黒鍬之者 拾四人

御挑灯御用立候節
貳百貳匁五分
但同斷
同 貳拾七人

〔朱書〕
〔内六人減〕 此銀四拾五匁

右貳口平均壹度分
百五拾三匁七分五厘

〔朱書〕
〔右貳口減高平均壹度分〕
三拾七匁五分

都合三貫貳百拾三匁三分五厘
〔朱書〕
〔減高都合八百七拾三匁五分〕
△

下ケ札

△
西丸御裏御門御締附^二而往来附申渡、御中間目付・御小人目付貳人者除

三丸 御成之節

一、八拾貳匁
〔朱書〕
〔但減方無御座候〕
御使組頭 壹人

一、四百五拾匁
但壹人三拾匁宛
〔朱書〕
〔内九人減〕 此銀貳百七拾匁
御中間 拾五人

一、壹貫百九拾七匁
但壹人拾九匁宛
〔朱書〕
〔内九人減〕 此銀貳百七拾匁
御中間 拾壹人
御小人 五拾貳人

〔朱書〕
〔内拾四人減
此銀貳百六拾六匁〕

小袖之節
一、貳貫百三拾六匁七分
御駕籠之者
貳拾三人

〔朱書〕
〔内五人減
此銀四百六拾四匁五分〕

袷之節
貳貫百匁七分
但老入四拾七匁九分宛

〔朱書〕
〔内五人減
此銀貳百三拾九匁五分〕

單物之節
六百三拾九匁四分
但老入貳拾七匁八分宛

〔朱書〕
〔内五人減
此銀百三拾九匁〕

右三口平均老度分
老貫貳百九拾貳匁六分

〔朱書〕
〔右三口減高平均老度分
貳百八拾老匁〕

一、百五匁
但老入七匁五分宛
黒鍬之者
拾四人

〔朱書〕
〔内四人減
此銀三拾匁〕

御挑灯御用立候節
貳百貳匁五分
同
貳拾七人

〔朱書〕
〔内六人減
此銀四拾五匁〕

右貳口平均老度分
百五拾三匁七分五厘

〔朱書〕
〔右貳口減高平均老度分
三拾七匁五分〕

都合三貫百七拾五匁三分五厘
〔朱書〕
〔減高都合八百五拾四匁五分〕

吹上御庭江 御成之節

一、八拾貳匁
〔朱書〕
〔但減方無御座候〕

御使組頭
老 人

一、五百拾匁
但老入三拾匁宛
〔朱書〕
〔内九人減
此銀貳百七拾匁〕

御中間目付
御小人目付
拾七人

一、銀老貫百四拾匁
但老入拾九匁宛

御中間
拾老入
御小人
四拾九人
△

〔朱書〕
〔内拾貳人減
此銀貳百貳拾八匁〕

下ケ札

△
御小人元人数
三拾八人程之由
右人数ニ濡御手当御聞濟之处、此度元人数拾老
人御増、御中間拾老入御打込、御中間・御小人
之合銀ニ而拾貳人分御減相成候ニ付、平均割合

候得者 壹人ニ付銀拾八匁六分壹厘貳毛相成申候
然ル所御中間拾壹人分御打込平均仕候様被仰渡
候間、猶又外ニ御中間請取高之端銀三拾七匁五
分三厘貳毛請取過ニ相成申候

御中間元人数
拾貳人

右人数 江濡御手当御聞濟之处、此度元人数壹人
御減剩御小人 江打込平均割合候様被仰渡候間、
壹人ニ付銀拾五匁貳分ニ相成申候

大的上覽之節者
一、銀貳百四拾七匁
但同断

御小人
拾三人増

右之外不時 上覽之節拜見被 仰付候得者、御老中方・若年寄
衆・御側衆御用御銘々 壹人宛是迄御断次第差出申候、右者不時之
儀ニ付相除申候

右貳口平均壹度分
銀六百九拾三匁五分
(朱書)
「右貳口減高平均壹度分
銀百六拾壹匁五分」

小袖之節
一、銀壹貫八百五拾八匁
但壹人九拾貳匁九分宛
(朱書)

御駕籠之者
貳拾人

「内五人減
此銀四百六拾四匁五分」
拾之節
一、銀九百五拾八匁
但壹人四拾七匁九分宛

(朱書)
「内五人減
此銀貳百三拾九匁五分」

單物之節
一、銀五百五拾六匁
但壹人貳拾七匁八分宛
(朱書)

「内五人減
此銀百三拾九匁」

右三口平均壹度分
銀壹貫百貳拾四匁
(朱書)
「右三口減高平均壹度分
銀貳百八拾壹匁」

一、銀百貳拾七匁五分
但壹人銀七匁五分宛
(朱書)

黒鍬之者
拾七人

「内七人減
此銀五拾貳匁五分」

御挑灯御用立候節
一、銀貳百六拾貳匁五分
但同断
(朱書)

同
三拾五人

「内八人減
此銀六拾匁」

上覽物之節
一、銀三百七拾五匁
但同断
(朱書)

同
五拾人

「内貳拾貳人減
此銀百六拾五匁」

右三口平均壹度分
銀貳百五拾五匁
(朱書)

「右三口減高平均壹度分
銀九拾貳匁五分」

都合銀貳貫六百六拾四匁五分

(朱書)
「減高都合銀八百五匁」

吹上御庭より 御三卿方屋形江 御立寄之節

覚	吹上御庭より御三卿方屋形江	御立寄之節
	一ツ橋外明地江	御成之節
	右両廉外	御成御同様ニ御手当御聞濟相成候様
	奉願上候	
四月		御玄關番

一、銀三百貳拾八匁
但老八拾貳匁宛

(朱書)
「内老八減
此銀八拾貳匁」

一、銀貳貫三百七拾匁
但老八拾貳匁宛

(朱書)
「内貳拾五人減
此銀七百五拾匁」

一、銀三貫六百八拾六匁
但老八拾九匁宛

(朱書)
「内三拾老人減
此銀五百八拾九匁」

御供組頭	老 人
御使組頭	三 人
御中間目付	
御小人目付	五拾三人
御中間押	
御小人押	貳拾六人
御中間	三拾九人
御小人	百五拾五人

△

下ケ札

△ 本文 御立寄之廉書留見合無御座候ニ付、外
例ニ御見競厚御勘弁奉願候

小袖之節
一、銀三貫三百四拾四匁四分
但老八拾貳匁九分宛

御駕籠之者
三拾六人

(朱書)
「内九人減
此銀八百三拾六匁老分」

拾之節
一、銀老貫七百貳拾四匁四分
但老八拾七匁九分宛

(朱書)
「内九人減
此銀四百三拾老匁老分」

單物之節
一、銀老貫八匁八分
但老八拾七匁八分宛

(朱書)
「内九人減
此銀貳百五拾匁貳分」

右三口平均老度分
銀貳貫貳拾三匁貳分
(朱書)
「右三口減高平均老度分
銀五百五匁八分」

一、銀老貫貳百三拾七匁五分
但老八拾七匁五分宛

(朱書)
「内三拾人減
此銀貳百貳拾五匁」

都合銀九貫六百四拾四匁七分
(朱書)
「減高都合貳貫百五拾老匁八分」

黒鍬之者
百六拾五人

一ツ橋外明地江 御成之節

一、銀貳百四拾六匁
但老八拾貳匁宛

御供組頭
老 人
御使組頭
貳 人

(朱書)
「但減方無御座候」

一、銀老貫七百拾匁
但老八拾匁宛

御中間目付
御小人目付
三拾三人
御中間押
御小人押
貳拾四人

(朱書)
「内拾五人減」
此銀四百五拾匁

一、銀三貫貳百四拾九匁
但老八拾九匁宛

御中間
三拾貳人
御小人
百三拾九人
△

(朱書)
「内三拾老人減」
此銀五百八拾九匁

下ケ札

△

御小人元人数
百拾九人程之由
御中間同断
三拾貳人
右人数百五拾老人平均割合候得者老人ニ付銀拾七匁六分老厘五毛ニ相成申候、然ル処御小人数貳拾人御増被成御中間・御小人百七拾老人平均割合候様被仰渡候間、老人ニ付銀拾五匁五分五厘五毛ニ相成、御中間三拾貳人之端銀六拾五

勿九分貳厘御小人方江請取過ニ相成申候

小袖之節
一、銀貳貫貳百六拾老匁六分
但老八拾貳匁宛

御駕籠之者
貳拾貳人

(朱書)
「内五人減」
此銀五百拾四匁

拾之節
一、銀老貫貳百七拾老匁六分
但老八拾七匁八分宛

(朱書)
「内五人減」
此銀百八拾八匁五分

右「三口」平均老度分
銀老貫四百五拾四匁貳分

(朱書)
「右三口減高平均老度分
銀三百三拾匁五分」

一、銀九百七拾五匁
但老八拾五匁宛

黒鍬之者
百三拾人

(朱書)
「内三拾人減」
此銀貳百貳拾五匁

都合銀七貫六百三拾四匁貳分
(朱書)
「減高都合老貫五百九拾四匁五分」

浜御庭江 御成之節

一、銀三百貳拾八匁
但老八拾貳匁宛

御供組頭
老 人
御使組頭
三 人

(朱書)
「内老人減」
此銀八拾貳匁

一、銀貳貫三百七拾匁
但老三人拾匁宛

御中間目付
御小人目付
四拾五人

御中間押
御小人押
貳拾六人

御玄關番
八人

(朱書)
「内貳拾九人減
此銀八百七拾匁」

一、銀三貫五百七拾貳匁
但老三人拾匁宛

御中間
四拾人

御小人
百四拾八人

(朱書)
「内四拾八人減
此銀九百拾貳匁」

下ケ札

△

御小人元人数
九拾貳人程之由

右人数江濡御手当御聞濟之處、此度元人数百四拾八人ニ被成、四拾人御打込御中間・御小人之合銀ニ而四拾八人分御減に相成候ニ付、元人数九拾貳人分拾九匁ツ、頂戴仕候而も銀百五拾貳匁相残り申候、然ル処御中間四拾人分御打込、平均割合候様被仰渡候間、猶又外ニ御中間請取高端銀百九拾四匁八厘程御小人方江請取過ニ相成申候

御中間元人数
四拾人

右人数江濡御手当御聞濟之處、御小人方江御打

込平均割合候様被仰渡候間、老三人付銀拾四匁老分四厘八毛程ニ相成申候

御駕籠之者

四拾貳人

小袖之節
一、銀四貫三百拾七匁六分

但老一人百貳匁八分宛

(朱書)
「内拾人減
此銀老貫貳拾八匁」

拾之節
一、銀貳貫四百貳拾七匁六分

但老一人五拾七匁八分宛

(朱書)
「内拾人減
此銀五百七拾八匁」

單物之節
一、銀老貫五百八拾三匁四分

但老一人三拾七匁七分宛

(朱書)
「内拾人減
此銀三百七拾七匁」

右三口平均老度分

銀貳貫七百七拾六匁貳分

(朱書)

「右三口減高平均老度分

銀六百六拾老匁」

一、銀老貫三百拾貳匁五分

但老一人七匁五分

(朱書)
「内貳拾五人減
此銀百八拾七匁五分」

都合銀拾貫三百五拾八匁七分

(朱書)

「減高都合貳貫七百拾貳匁五分」

黒鍬之者

百七拾五人

玉川筋 御成之節

一、銀四百拾匁

但老八拾貳匁宛

御供組頭

老 人

御使組頭

四 人

(朱書)

「内老八減

此銀八拾貳匁」

御中間目付

御小人目付

五拾人

御中間押

御小人押

貳拾六人

御玄關番

八 人

(朱書)

「内貳拾人減

此銀六百匁」

御中間

七拾六人 ○

御小人

貳百三拾七人

一、銀五貫九百四拾七匁

但老八拾九匁宛

(朱書)

「内六拾七人減

此銀老貳百七拾三匁」

下ケ札

○ 御早召有之候節者御馬手馬牽人・御中間貳百六拾五人相増并差添御中間組頭四人相増

同断

御小人元人数

百三拾九人程之由

右人数江濡御手当御聞濟之处、此度元人数貳百

三拾七人被成、御中間七拾六人御打込御中間・

御小人之合銀二而六拾七人分御減相成候二付、元

人数百三拾九人分銀拾九匁宛頂戴仕候而も銀五

百八拾九匁相殘申候、然ル所御中間七拾六人分

御打込平均割合候様被仰渡候間、猶又外二御中

間請取高端銀三百九匁老分六厘八毛程受取過二

相成申候

御中間元人数

七拾六人

右人数江濡御手当御聞濟之处、御小人方江打込

平均割合候様被仰渡候間、老八二付銀拾四匁九

分三厘貳毛程二相成申候

但右見合者御早召二無之節之人数二御座候、

本文御下ケ者御早召之人数与相見申候、左

候へハ御小人元人数少々ハ相増可申哉与奉

存候

御駕籠之者

五拾八人

小袖之節

一、銀五貫九百六拾貳匁四分

但老八百貳匁八分宛

(朱書)

「内八人減

此銀八百貳拾貳匁四分」

裕之節

一、銀三貫三百五拾貳匁四分

但老八五拾七匁八分宛

(朱書)

「内八人減

此銀四百六拾貳匁四分」

單物之節

一、銀貳貫百八拾六匁六分

但老八三拾七匁七分宛

〔朱書〕
「内八人減 此銀三百壹匁六分」

右三口平均壹度分
銀三貫八百三拾三匁八分
〔朱書〕
「右三口減高平均壹度分
銀五百貳拾八匁八分」

一、銀壹貫三百五拾匁
但壹人七匁五分宛
〔朱書〕
「内貳拾人減 此銀百五拾匁」

都合銀拾四貫六拾匁八分
〔朱書〕
「減高都合銀貳貫六百三拾三匁八分」

六郷筋 御成之節

一、銀四百拾匁
但壹人八拾貳匁宛
〔朱書〕
「内壹人減 此銀八拾貳匁」

一、銀貳貫五百八拾匁
但壹人三拾匁宛
〔朱書〕
「内貳拾人減 此銀六百匁」

黒鍬之者
百八拾人

御供組頭
壹人
御使組頭
四人

御中間目付
御小人目付
五拾四人
御中間押
御小人押
貳拾四人
御玄關番
八人

一、銀六貫百三拾七匁
但壹人拾九匁宛

〔朱書〕
「内七拾七人減 此銀壹貫四百六拾三匁」

御中間
六拾九人
御小人
貳百五拾四人

○
御早召有之候節者御馬手馬牽人・御中間貳百六拾五人相増并差添御中間組頭四人相増

同断

御小人元人数

百五拾三人程之由
右人数江濡御手当御聞濟之处、此度元人数貳百五拾四人被成、御中間六拾九人御打込御中間・御小人之合銀二而七拾七人御減二相成候二付、元人数百五拾三人分銀拾九匁宛頂戴仕候而も銀四百五拾六匁相殘申候、然ル所御中間六拾九人分御打込平均割合様被仰渡候間、猶又外二御中間請取高端銀三百拾貳匁五分三厘五毛請取過二相成申候

御中間元人数
六拾九人

右人数江濡御手当御聞濟之处、御小人方江打込割合様被仰渡候間、壹人二付銀拾四匁四分七厘二相成申候

但右見合者御早召二無之候節者人数二御座候、本文御下ケ者御早召之人数与相見申候、左

候得者御小人元人数少々者相増可申哉与奉
存候

小袖之節

一、銀七貫八百拾貳匁八分

但老入百貳匁八分宛

御駕籠之者

七拾六人

〔内拾人減

此銀老貫貳拾八匁

拾之節

一、銀四貫百九拾貳匁八分

但老入五拾七匁八分宛

〔朱書

〔内拾人減

此銀五百七拾八匁

單物之節

一、銀貳貫八百六拾五匁貳分

但老入三拾七匁七分宛

〔朱書

〔内拾人減

此銀三百七拾七匁

右三口平均老度分

銀五貫貳拾三匁六分

〔朱書

〔右三口減高平均老度分

銀六百拾老匁

黒鍬之者

百八拾人

一、銀老貫三百五拾匁

但老入七匁五分宛

〔朱書

〔内貳拾人減

此銀百五拾匁

都合銀拾五貫五百匁六分

〔朱書

〔減高都合貳貫九百五拾六匁

駒場野 御成之節

一、銀三百貳拾八匁

但老入八拾貳匁宛

御供組頭

老 人

御使組頭

三 人

〔朱書

〔内老入減

此銀八拾貳匁

御中間目付

御小人目付

六拾貳人

御中間押

御小人押

貳拾六人

御玄關番

八 人

〔朱書

〔内四拾人減

此銀老貫貳百匁

御中間

五拾九人

御小人

百七拾四人 ○

一、銀四貫四百貳拾七匁

但老入拾九匁宛

〔朱書

〔内四拾貳人減

此銀七百九拾八匁

○

本文駒場野江 御成之廉當時書留見合無御座
候ニ付、外例ニ御見合厚御勘弁奉願候

御駕籠者

四拾貳人

小袖之節

一、銀四貫三百拾七匁六分

但老入百貳匁八分宛

〔朱書

〔内拾人減

此銀老貫貳拾八匁

拾之節

一、銀貳貫四百貳拾七匁六分

但老入五拾七匁八分宛

(朱書)
「内拾人減
此銀五百七拾八匁」

單物之節
一、銀壹貫五百八拾三匁四分
但壹人三拾七匁七分宛

(朱書)
「内拾人減
此銀三百七拾七匁」

右三口平均壹度分

銀貳貫七百七拾六匁貳分

(朱書)

「右三口減高平均壹度分
銀六百六拾壹匁」

黑鍬之者
百四拾五人

一、銀壹貫八拾七匁五分
但壹人七匁五分宛

(朱書)

「内貳拾五人減
此銀百八拾七匁五分」

都合銀拾壹貫四百九拾八匁七分

(朱書)

「減高都合銀貳貫九百貳拾八匁五分」

山之手遠 御成之節

一、銀三百貳拾八匁
但壹人八拾貳匁宛

(朱書)

「内壹人減

此銀八拾貳匁」

御供組頭
壹人

御使組頭
三人

御中間目付
御小人目付

六拾壹人

御中間押

御小人押

貳拾六人

一、銀貳貫八百五拾匁
但壹人三拾匁宛

御玄關番
八人

(朱書)
「内三拾六人減
此銀壹貫八拾匁」

一、銀四貫六百三拾六匁
但壹人拾九匁宛

御中間

四拾五人○

御小人

百九拾九人

(朱書)

「内四拾五人減

此銀八百五拾五匁」

下ケ札

○ 御早召有之候節者御馬手馬牽人御中間貳百六拾五人相増并差添御中間組頭四人相増

御駕籠之者

四拾貳人

一、銀四貫三百拾七匁六分
但壹人百貳匁八分宛

(朱書)

「内拾人減

此銀壹貫貳拾八匁」

一、銀貳貫四百貳拾七匁六分
但壹人五拾七匁八分宛

(朱書)

「内拾人減

此銀五百七拾八匁」

一、銀壹貫五百八拾三匁四分
但壹人三拾七匁七分宛

(朱書)

「内拾人減

此銀三百七拾七匁」

右三口平均壹度分

銀貳貫七百七拾六匁貳分

(朱書)

「右三口減高平均壹度分
銀六百六拾壹匁」

一、銀壹貫八拾七匁五分

黑鍬之者

百四拾五人

但老七人五分宛

(朱書)

〔内式拾五人減

此銀百八拾七匁五分〕

都合銀拾老貫六百七拾七匁七分

(朱書)

〔減高都合銀貳貫八百六拾五匁五分〕

川筋遠 御成之節

一、銀四百拾匁

但老八拾貳匁宛

御供組頭

老 人

御使組頭

三人

(朱書)

〔内式人減

此銀百六拾四匁〕

御中間目付

御小人目付

五拾貳人

御中間押

御小人押

貳拾六人

御玄關番

八 人

(朱書)

〔内式拾八人減

此銀八百四拾匁〕

御中間

五拾六人

御小人

百八拾三人

一、銀四貫五百四拾老匁

但老八拾九匁宛

(朱書)

〔内四拾四人減

此銀八百三拾六匁〕

下ケ札を以申上候、御小人方江請取過多分之廉取調

候処左之通ニ御座候

一、玉川筋 御成

合銀老貫四百六拾三匁六分貳厘

為金貳拾四兩老分卜

銀八匁六分貳厘

一、六郷筋

合銀老貫四百六拾老匁五分四厘九毛

為金貳拾四兩老分卜

銀六匁五分四厘九毛

一、川筋

合銀九百六拾老匁分四厘六毛

為金拾六兩卜

銀老匁老匁分四厘六毛

右之通ニ御座候、都而遠 御成者右ニ准し候ニ付御
仁恵を以相当ニ被仰渡偏奉願候

御駕籠之者

四拾貳人

小袖之節

一、銀四貫三百拾七匁六分

但老八拾貳匁八分宛

(朱書)

〔内拾八人減

此銀老貫貳拾八匁〕

拾之節

一、銀貳貫四百貳拾七匁六分

但老八拾七匁八分宛

(朱書)

〔内拾八人減

此銀五百七拾八匁〕

單物之節

一、銀老貫五百八拾三匁四分

但老八拾七匁七分宛

右三口平均壹度分

銀貳貫七百七拾六匁貳分

(朱書)

「右三口減高平均壹度分

銀六百六拾壹匁」

黒鍬之者

百七拾五人

一、銀壹貫三百拾貳匁五分

但壹人七匁五分宛

(朱書)

「内式拾五人減

此銀百八拾七匁五分」

都合銀拾壹貫六百拾九匁七分

(朱書)

「減高都合銀貳貫六百八拾八匁五分」

右口々々

銀百四拾五貫六百貳拾五匁五分四厘八毛

(朱書)

此金貳千四百貳拾七兩、銀五匁五分四厘八毛

(朱書)

「右口々々減高」

銀三拾貳貫百六拾壹匁分

此金五百三拾六兩一銀壹分」

右大將様遠 御成之節御場濟御注進狀 御膳所より

西丸計是迄之通差出 西丸より 御本丸江申達

候処左候而者遅刻ニ茂相成候間、已來者同時ニ兩丸江差

出候間、其心得ニ而野方御使之者差出候様可被致候、

右者 御本丸御小納戸頭取深津近江守申聞候旨遠山

半左衛門掛合有之候間、前条之通已來取極メ置度依之

申達候、以上

正月十日

松本十郎兵衛

御中間頭中

右之通被仰渡御座候ニ付是迄人数差出シ濡御手当頂戴仕候処、此度右之廉相洩レ候ニ付此段奉伺候

右者 西丸支配向濡御手当減方之儀被仰渡候ニ付取調候処、書

面之通御座候

一、上野増上寺江 御装束ニ而御定式被為 成候廉

右者 西丸二者未夕無御座候ニ付相除申候

一、御大札等ニ而束帶衣冠御行列敷、御法事濟 御参詣被遊候節

一、御同道遠 御成之節

一、七月十五日於浜御庭奥向衆為 御名代魚獵有之候節

一、御本丸与違御細工所江程遠ニ付 西丸御駕籠之者 御参詣之節

御轅持運并御駕籠引替等之節共

一、御老中方・若年寄衆・御側衆遠 御成先江定例之外ニ御越被成候

敷、或者遠馬等之節

一、御成之節々奥向衆臨時断ニ而 御成先江相廻候節

一、奥向衆御馬乗様之節

右之廉々者其都度々々可申上候 此外右様之廉々可有御座候得共

兼而治定仕兼候間是者其都度々々可申上候

一、奉差上候帳面之内 御本丸伺済江引競成丈ケ減方仕候得共下ケ

札ニ而申上候、西丸ニ而相増候廉々者色々勘弁仕候得共無余儀筋

ニ御座候間申上候、右 西丸ニ而増候廉々御聞済ニ相成候而も

御本丸減方伺済惣縊之銀高与者余程相減申候之間 此段者御聞

済御座候様仕度、右帳面入御覽御内慮奉伺候、以上

十二月

林 内蔵頭

覺

御本丸江 御成之節御時計附人且奥向浜御庭ニ而魚
獵之節并奥向御馬乗様之節牽人者格別、右ニ付出役之者
ハ難被及御沙汰、且又 御本丸江 御成之節御玄關番
之儀廉減之積り相心得 御早召之節牽人之儀者其時々
人数省略いたし相伺、其余者都而伺之通り可被心得候事